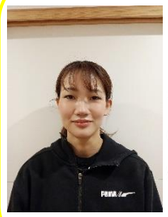
1月1日より入職致しました山口朋也（やまぐちともや）と申します。以前は介護施設に勤めていました。障害者施設での仕事は初めてではありますが利用者様1人1人に寄り添った支援が出来るよう努めていきます。宜しくお願い致します。

1月1日より入職致しました河野璃子（かわのりこ）と申します。前職では10年ほど看護師として病院と幼稚園で勤めていました。初めての分野でわからない事が多いですが、利用者様が楽しく安心して過ごせるよう支援をさせて頂きたいと思います。宜しくお願い致します。



1月1日から入職致しました君田有夏里（きみたあかり）と申します。初めての職種でわからない事ばかりですが利用者様に寄り添い、安心して楽しくご利用が出来るよう、一生懸命頑張ります。宜しくお願い致します。

1年間の育児休暇を頂き、1月より復帰致しました矢野亜紀（やのあき）です。子育てをしながらの仕事復帰で色々とご迷惑をおかけすることもありますが一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。

そしあるアドレス

そしある固定電話：0985-77-8817
そしあるＦＡＸ：0985-77-8818
そしある携帯①：080-5245-5677
そしあるPCアドレス：sosiaru@miyazaki-catv.ne.jp
そしある携帯アドレス：sosiaru80－78@softobank.ne.jp

そしあるＨＰ

https://npo-social.com
どしどしアクセスしてください。
ご相談のある方は、
いつでもご連絡下さい。

新たなステージへ

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
令和７年１月７日、日中サービス支援型共同生活援助事業の新築工事に伴う起工式を無事に終えることができました。そしあるは平成25年から生活介護事業を展開してきましたが、このたび念願の「終の棲家構想」であるグループホーム事業に着手する運びとなり、大変喜ばしく感じております。
この事業の目的は、重度の障がい者や高齢者の支援に特化した環境を提供することです。しかしながら、全国的に見ても進展が遅れている分野の一つです。その背景には、24 時間体制を必要とするため職員確保が困難であること、募集しても人材が集まりにくいこと、さらに入職後に離職するケースが多いことが挙げられます。
このような課題がある中で、そしあるがグループホーム事業に踏み切った大きな原動力は、2年前に亡くなられたＨさんの存在です。「もしあの時グループホームがあれば……」と何度も思い返しました。その思いを抱きながらも、現場で働く人材が揃わなければ理想は実現しません。時間だけが過ぎる中で、私たちは職場環境の改善に力を注ぎました。

＜職場環境改善への取り組み＞

私がそしあるへ入職して13年目になります。この間、従事者の定着率の低さや、様々な関係者との意見の相違など、福祉事業の継続を悩む場面もありました。しかし、自分が描く理想の構想は変わることなく、そのために必要なことを考え、実行してきました。
特に重視したのは、職員の生活の安定を図ることです。職員自身が「守られている」と実感することで、経営者の想いを理解し、「自ら考え行動したい」という気持ちが芽生えると信じていました。この考えに異論もありましたが、周囲を気にせず進めた結果、定着率が向上し、さらに職員の紹介による人材の増加という好循環を生み出しました。
10年前には10名程度だった職員数が、2025年にはグループホーム事業を含め約30名になる見込みです。これは、職員と共に歩む姿勢が実を結んだ結果であると感じています。

＜共に歩む未来へ＞

「WIN, WIN の関係」がなければ、経営者の理想はただの夢物語に終わっていたでしょう。お互いにメリットがあることで、その相乗効果として利用者様に質の高い支援を提供できるのだと実感しています。
最後になりますが、より高度な専門性を身に着けながら、どこにも負けないチームワークを構築し、そしあるに関わる利用者様に安心できる生活を提供してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします

サポートセンター　そしある
理　事　長　　安藤　　学

起工式

161号

そしあるぽすと

発行日
2025・1

発行者…特定非営利活動法人　サポートセンター　そしある
発行責任者…安藤　学
発行場所…宮崎市佐土原町上田島字山倉４４７７番地１